

経営比較分析表

岐阜県 多治見市

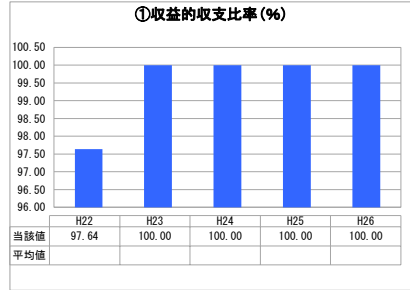
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.13	65.69	3,672

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
114,215	91.25	1,251.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
148	0.17	870.59

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

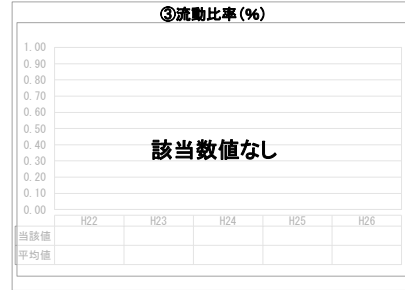
1. 経営の健全性・効率性



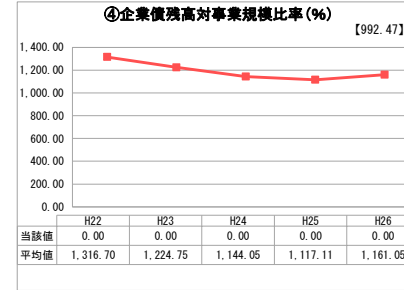
「単年度の収支」



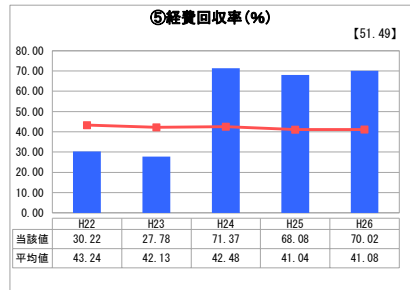
「累積欠損」



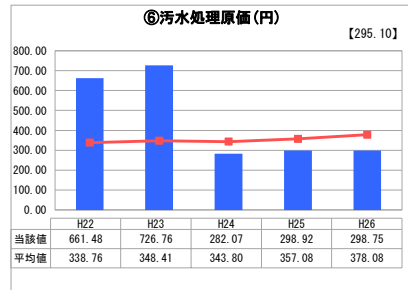
「支払能力」



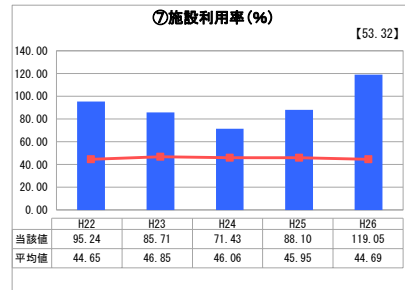
「債務残高」



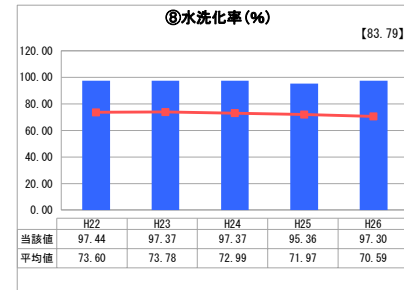
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

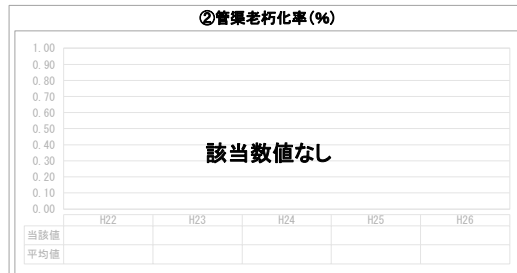


「使用料対象の捕捉」

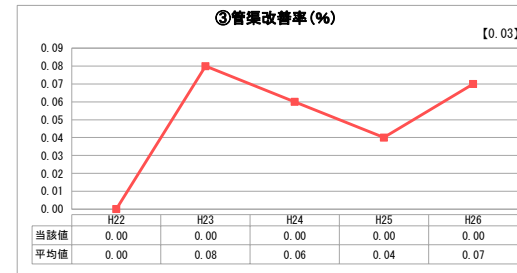
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支は100%で推移しており、安定している。処理区域内における水洗化率も類似団体の平均値より高い。一方で、経費回収率と汚水処理原価については、平成24年度で大きく変化している。これは農業集落排水施設の維持管理に係る人件費分を、その業務量の見直しにより減額したためである。結果、経費回収率は類似団体の平均値と比べて高い値となっているものの、使用料で賄えない維持管理費については一般会計からの繰り入れを行っている状況であり、概ね70%程度となっている。また、企業債残高対事業規模比率については値が0であるが、これは、起債残高のうち、一般会計からの繰り入れで賄うべき分を除いているためである。なお、新たな起債は無く、残高としては年々減少している。他、施設利用率は平均より高い数字になっており、効率的な運営ができているが、平成26年度において、前年度と比べ大きく増加し、100%を超えている。これは流量計の不具合によるものと考えられ、結果として有収率にも影響していると思われるため、調整しつつ対応しているところである。

2. 老朽化の状況について

平成12年から運営を開始している新しい施設であるため、現在のところ更新工事等は行っていない。

全体総括

平成12年開始の新しい施設であり、規模も小さいことから、収入・経費共に年度による増減が少なく、安定的な経営ができている。今後、施設機器等、順次耐用年数を迎えることで、更新が必要になることから、経費の増加が見込まれるため、財源を視野に入れた計画的な取り組みが必要とされる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。